

- 主な内容
- 1 千葉大学クリニカル・スキルズ・センターがオープン!
千葉大学医学部附属病院 理念
 - 2 市民公開講座 とても身近な病気「がん」の話
患者さんの声
なのはな文庫のご案内
 - 3 東日本大震災における支援活動に対し感謝状が贈呈されました
〔ミニニュース〕
ベストマナー賞表彰式、ベストプラクティス表彰式
工事に伴う駐車場の一部使用停止のお知らせ
 - 4 〔フリートーク〕放射線科 教授 宇野 隆
〔トピックス〕腰痛
〔ちばをてくてく〕◎ホキ美術館



千葉大学医学部附属病院 〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1
TEL 043-222-7171 (代表)

<http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>

ホームページで「病院ニュース」のバックナンバーがご覧いただけます。



シミュレータを使用しているトレーニングの様子



医療専門職向けのプログラム

千葉大学クリニカル・スキルズ・センターが 2月1日にオープンしました!!

医療者の手技向上のための シミュレーション教育

医師、看護師等の医療者は、さまざまな診療手技を駆使して医療を行っています。ベッド上での患者さんのケアや高度な手術手技などそれぞれの職種ごとに質の高い診療手技が求められています。このようなニーズに応えるべく、医療者は常に新たな手技の修得と技能のレベルアップを図っています。

従来、診療手技は、see one, do one, teach oneという学習プロセスで修得するのが一般的でした。初心者トレーニングを受

ける場合、最初に指導者の手技を観察し、次に自分でやってみて、最後にその手技を人に教えられるようになるという意味です。

手技の修得には、自らが行うというプロセスが不可欠です。このプロセスを患者さんではなく、シミュレータに対して行うのが「シミュレーション教育」です。シミュレーション教育は、未熟な手技による医療事故を予防できるばかりでなく、反復して同じ手技をトレーニングできる、手技のレベルを数値化して評価できるなどの利点があります。

充実した教育プログラムで 安心の医療の実現を

この教育を実践できる場として、2月1日に院内に千葉大学クリニカル・スキルズ・センターがオープンしました。医師ばかりでなく看護師等の医療専門職のトレーニングもできるように多種類、多機能のシミュレータを用意しています。

大学病院の特色を生かして洗練された教育プログラムで経験豊かな指導者によるシミュレーション教育を行います。学生から医師、看護師等の医療専門職まで、学内のみならず地域の医療者も利用できるようになります。このセンターの設置により県内医療者の診療技能のレベルを向上させ、千葉県全体で安全、安心の医療の実現を目指します。

(総合医療教育
研修センター・教授
田邊政裕)

患者さんへ

本院は、患者中心の質の高い医療を目指すとともに、次世代を担う優れた医療者を育成する医療機関であります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

本院の理念

人間の尊厳と先進医療の調和を目指し、臨床医学の発展と次世代を担う医療者の育成に努める。

本院の基本方針

- 患者の意思を尊重した安心・安全な医療を提供します。
- 先進医療の開発と実践を目指します。
- 社会・地域医療へ貢献します。
- 人間性豊かな優れた医療者を育成します。

本院における患者の権利と責務

- 〔権利〕
- 人権が尊重されます。
 - 公平で良質、かつ安全な医療を受けることができます。
 - プライバシーが保護されます。
 - 診断・治療法等に関して、十分な情報提供と説明を受けてうえで、自らの意思で決定できます。
 - 臨床研究に関しては十分な説明を受けたうえで、研究に参加するか否かを自ら決定し、いつでも参加を中止することができます。
- 〔責務〕
- 良質な医療を実現するため、自身の健康状態に関する正確な情報を提供してください。
 - 良質な医療を受けるため、定められた諸規則を守ってください。
 - 医療者の育成にご理解のうえ、積極的に医療に参加し協力してください。

平成16年5月17日 制定
平成23年12月12日 一部改定

いのはな コラム

走るって 意外と奥が深い!?

最近ランニングを趣味にしている医療関係者が増えています。私も、5年前に息子が小学校に入学した頃から体力維持のためのランニングをするようになりました。徐々に距離を延ばしていきましたが10km以上走ると膝が痛くなり、マラソン大会に出ることはとうてい無理だと思っていました。ところが、ランニング教本を読んだところ、走り方に問題があることがわかりました。トレーニング方法にもそれなりの理論があり、走るこ

奥深さを初めて知りました。今では走り方も変わり、年に3、4回、フルマラソンに参加しています。ランニングは、心の健康維持にも役立っています。

(泌尿器科・教授 市川智彦)



【千葉大学病院市民公開講座】

「知っておきたいがんの話」

「知っておきたいがんの話」をテーマに今年も市民公開講座が開催されました。



講演の様子



宮崎病院長あいさつ

がんはとても身近な病気

1月22日、千葉市民会館にて「がん」をテーマにした千葉大学病院市民公開講座が開催され、たくさんの市民の方々が来場されました。
今年で50回目となるこの市民公開講座では、「がん」について分かりやすく正確な情報をお伝えするために、毎年趣向を凝らしています。国民の2人に1人が一生のうち「がん」となり、3人に1人が「がん」で亡くなる「時代」となり、今や「が

がん検診の重要性を
わかりやすく解説

「は国民病ともいわれる身近な病気となりました。しかし、この病気を身近に感じている方はまだ多いとは言えず、千葉県のがん検診の受診率は30%程度にとどまっているのが実状です。

今年には特に「予防法」に注目し、科学的根拠に基づいた「がん」になりやすい因子について、また、肺がん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんなどの「がん検診」の必要性、早期診断・早期治療の有用性について詳しい解説がありました。
さらに、がんの治療法（手術・放射線・化学療法）について、最新の情報を含めて各専門家が解説を行い、その治療をともに支える看護や療養生活のサポート

千葉大学病院ではホームページに「がん情報サイト」を設け、市民公開講座、がん患者向け勉強会、患者サロンなどの開催について、また患者相談支援センターについてお知らせしています。なお、今回の市民公開講座での講演内容も公開しています。

◎病院ホームページ
<http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>
◎HP内「がん情報サイト」
<http://chiba-ho.umin.jp/>



体制として、当院の「がん相談支援センター」の活動も紹介されました。また、特別講演として、さくさく坂通り診療所・大岩孝司先生より「病院から自宅での治療へ 在宅がん緩和治療の挑戦」というテーマで、「自宅で療養される患者さんの痛みをとる治療や、細やかな在宅訪問診療の様子をお話いただきました。」
ご来場の方からは、「来てよかった」「特別講演に感銘を受けた」など高評価をいただき、一方、個別の病気について講座を希望します「受動喫煙の害について取り上げて欲しい」など、今後の市民公開講座に対する具体的なご意見もいただきました。次回以降の課題としていと思えます。

千葉大学病院は、がんの診療に力をそそぐ、「地域がん診療連携拠点病院」として、これからも、多くの診療科を備えた総合力を生かし、さまざまなニーズにお応えできる質の高い医療を提供できるように努力していきます。

（臨床腫瘍部・助教 堺田恵美子）

患者さんの声

皆さまからこんな声が届きました。患者さんの声にお答えします。



◎ご要望

Q にし棟からひがし棟へ真っ直ぐに行き、ローソンの方へ曲る角でぶつかりそうになりました。カーブミラーの様なものがあつたらと思いました。

A 本院の廊下は幅員が狭く、通行には大変ご迷惑をお掛けしております。なお、見通しの良くない曲がり角には「天井固定型ミラー」を設置していく予定です。大変ご不便をお掛けいたしますが、今しばらくお待ちいただけますよう、よろしくお願いたします。この度は、貴重なご意見ありがとうございました。

◎お便り

にし棟10階の配膳の方は、とても丁寧で感じがよく、お手洗いの場所を聞いたら、パン屋の場所まで教えてくれました。本当にありがとうございました。病院がとても親しみのある場所に感じました。

なのはな文庫のご案内



なのはな文庫は平成12年6月のオープン以来、院内図書室として多くの方にご利用いただいています。マンガ、文庫本、絵本など、楽しい図書を約15,000冊とりそろえてありますが、全て有志による寄贈品です。貸出日は毎週水曜日10時～12時と土曜日14時～16時、地下1階玄関より出て



多くの蔵書がある図書室内

左手にあります。親切なボランティアが皆様のお越しをお待ちしております。

（地域医療連携部・医療ソーシャルワーカー 葛田衣重）

mini news

■ ベストマナー賞表彰式

平成17年度から、病院サービスの向上を目的として、看護師、看護補助者、クラークの中から、患者さんに対する思いやりある対応、マナー、清潔感のある身だしなみ等、各部署の模範となる優れた職員に対し、「ベストマナー賞」を授与しています。2月21日に表彰式が開催され、本年度は28名の「ベストマナー賞」が誕生しました。

(看護部・副看護部長 久保悦子)



受賞者集合写真

■ ベストプラクティス表彰式

医療安全管理部では、毎年、各部署で取り組んでいる安全対策を公募し、特に優れた取り組みを表彰する『ベストプラクティス表彰式』を実施しています。今年度の金賞は、出血した妊婦さんへの対応をスムーズに行えるよう検査部、救急部、輸血・細胞療法部、薬剤部の協力を得てトレーニングを施行した取り組み「産科危機的出血ガイドラインを作成して」に決まり、宮崎病院長より表彰状が授与されました。

(看護部・副看護部長 久保悦子)



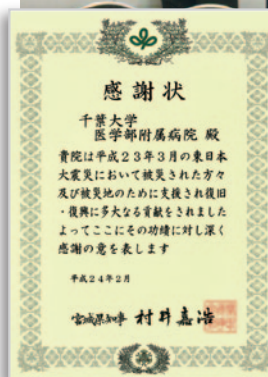
表彰式の様子

東日本大震災における
支援活動に対し
感謝状が贈呈されました

千葉大学病院は昨年3月に発生した東日本大震災において、被災された方々への医療支援活動、被災地の復興支援活動等に貢献したとして、千葉県から感謝状が贈られました。千葉県庁で開



贈呈式での森田千葉県知事



宮城県知事から送られた感謝状

催された贈呈式には、私たち医療機関に加えて、自衛隊、消防、水道事業、建築業等、計102団体が招かれました。
感謝状の贈呈後、森田千葉県知事は「602万県民を代表し御礼申し上げます」と改めて謝辞を述べ、「震災を教訓に、今後、より一層しっかりとした(防災)体制を整えねばならない」とお話しになりました。
また、今回の震災において被災地となった宮城県からも、同様に感謝状が贈られました。村井宮城県知事からは、「宮城県は、県民と手と手を携えながら復興へ向けて全力を尽くしていきます。今後ともご支援、ご尽力を賜りますようお願い申し上げます」とのお話がありました。

看護師・助産師 募集

平成25年度
新採用募集

心と技と責任

その重さを知っている人。
それが、千葉大学医学部附属病院の看護師です。

- 資格：平成25年3月卒業見込みで、看護師・助産師免許取得見込みの方又はすでに免許を取得されている方
- 待遇：当院規定により優遇します
- 応募：電話連絡の上履歴書・看護師等の免許証(新卒の方は成績証明書)を郵送ください。なお、選考日については本院HPを参照してください。
- 応募またはお問い合わせ先
TEL: 043-222-7171
総務課人事係(内線6020) 看護部事務室(内線6610)



千葉大学医学部附属病院

詳しくは看護部ホームページから

<http://www.chiba-kangobu.jp/>



工事に伴う駐車場・駐輪場の一部使用停止のお知らせ

この夏より、新外来棟の工事が始まります。

工事期間中は、駐車場及び駐輪場の一部が使用できなくなります。

ご来院にあたりご不便をおかけいたしますが、工事期間中はできる限り公共交通機関を利用していただきますようお願い申し上げます。

工事開始時期など詳細につきましては改めてご案内いたします。



フ リ ー ト ーク

千葉大学医学部附属病院 放射線科 教授 宇野 隆 (うの たかし)

医療装置が高度になるほど、使う人の力も求められる



画像診断装置が変えた放射線治療

放射線科での診療には、「画像診断」「核医学」「放射線治療」という三つの大きな分野があります。近年は、CT、MRIなどの画像診断装置の進歩で、どこに悪性腫瘍(がん)があり、どこまで広がっているかということまでわかるようになりまし。それに引っぱられるように、腫瘍に正確に当てる技術も進歩し、放射線を使った治療は、いろいろな疾患に使われるようになりました。しかし、日本は被爆国ということもあり、放射線治療というと、副作用や、がんになるのではないかとという心配をされる方も少なくありません。また、がん治療の場合、患者さんやご家族の方に、治療法を選んでいただくこととなります。そのため、さらに理解していただけるように努めていきたいと思っています。

使う人の力が求められる時代

同じ名前の病気でも、人それぞれ、進み具合、体の具合、臓器の大きさが違います。CTで取得したデータは、コンピュータで分析し、一人ひとりの病状に合わせて、放

射線治療のプランニングをします。このプランニングを治療装置に転送すると、機械が放射線を当ててくれます。

日常診療をフィードバック

臨床の現場では、患者さん一人ひとりの違いを感じ、日々、驚かされています。これだけ医学が進んでいても、標準的な治療だけで治ってしまう人がいれば、標準的な治療をしていても運悪く再発してしまう人もいます。大学病院としては今後、どういう方が標準的な治療に向いていて、どういう方が不向きなのかということを追求していかなくてはならないと思います。

そして、単に最新機器を使いこなすだけではなく、より高度な治療法を開発しなければなりません。それには、われわれが日常診療で気づいた現場の経験を、治療装置にフィードバックしていく必要があります。

Profile

宇野 隆 (うの たかし)

東京都出身。昭和63年に千葉大学医学部卒業後、千葉大学病院放射線科に入局。国立国際医療センターでの勤務を経て、再び千葉大学病院へ。妻、小学4年の長女との三大家族。趣味は、サッカー観戦(学生時代はボランチとして活躍)とカメラ。学会の帰りなどに、風景写真などを撮るのが楽しみ。診察室には、自作の写真も飾られている。

ちばをてくてく

森を抜けて、美術館に行こう

千葉市でいちばん大きな公園、「昭和の森」に隣接する、自然がたっぷりのエリアに、ちょっと変わった美術館があるのをご存じですか？

この美術館、世界でも珍しい「写実絵画」専門の美術館。作家たちが、気の遠くなるような長い時間を一枚の絵に注いだ「写実絵画」は、文字どおりに写真としか見えないような精緻さ。けれども人の手で描かれた絵であり、写真にはないあたたかさが宿っているようでもあります。巨匠から若手まで約40作家300点の写実絵画を、自然光が展示エリアに差し込む、美しい空間で楽しむことができます。

森の中を歩きながら、絵画を見ているような不思議な錯覚をしてしまう、このモダンな建物は、2011年度に「第7回 日本建築大賞」に選出されたばかり。外が気持ちのよい季節です。

お弁当をもって、森の中のモダンな美術館へ出かけてみませんか？ 5月20日まで、「存在の美—まなざし・微笑み・憂い」展を開催中です。

◎ホキ美術館
千葉市緑区あすみが丘東3-15
043-205-1500
<http://www.hoki-museum.jp/>



ホキ美術館外観

ホキ美術館 5



Tonics トピックス

受診が必要な腰痛とは？

腰痛

腰痛は内臓や血管の病気、婦人科や泌尿器科の病気でも起こることがありますが、ほとんどは腰椎(腰骨)とその周りが原因となつて生じます。人が立っているときには、腰には体重の1.4倍の力がかかることされており、前かがみで物を持てば、さらに大きな力がかかります。病院で治療する腰痛には、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症などがあります。が、大多数の腰痛は長年にわたり、腰椎が負荷にさらされ、しなやかさが失われることから生じるもので、心配のないものです。心配のない腰痛の特徴としては、腰痛のみのもの、叩くと気持ちよいもの、安静にするだけで軽くなるもの、全身に他の病気がないものなどがあげられます。

1〜2週しても痛みがよくなる場合や、坐骨神経痛(脚の後ろの痛みやしびれ)がある場合には、整形外科を受診して下さい。正確な診断により、心配ないことが分ければ、できるだけ活動性を上げるように治療していくこととなります。同じ姿勢を長くとらない、腰を冷やさないなどの日常生活の注意、ストレッチ、水中歩行などの運動療法や、適切な薬の使用などにより、腰痛の軽減をはかっていきます。

(整形外科・教授 高橋和久)

あとがき

東日本大震災から早1年。本号では、震災直後から千葉大学病院が継続して取り組んできた医療支援に対して、宮城県知事、千葉県知事から感謝状をいただいたことを掲載しました。震災で改めて考えさせられたのは、家族や隣人の大切さ。そして地域のあらゆる方々

に支えられていたこと。医療者として少しでも多くの人の助けや支えとなれるよう、常日頃から医療技術を磨いて、とっさの求めに応じられる力と余裕が持てるように、精進し続けたいと思うこのごろです。

(編集委員 看護部 田澤敦代)